BOXER 4WD

PERFORMANCE

レガシィの走り、それは操る愉しさ。

世界最高水準の走りを実現するために。

SUBARUは1972年に世界でも稀な「水平対向エンジン+シンメトリー4WDレイアウト」をもった独自の4WDシステム（ボクサー4WD）を開発。以来、世界中のすべての道を速く、快適に、そして安全に走るために、4WDを積極的に進化発展させてきました。世界最高峰のモータースポーツ、WRC（世界ラリー選手権）において3年連続（1995～97年）メーカーチャンピオン獲得という輝かしい戦績で、スバルはその高度なスポーツ性を証明。いま、ボクサー4WDはドライバーがもとめる走りに応じた、スポーツ性の高い4WDシステムを提供するために、さらに進化を果たしました。

優れた運動バランスが走りの愉しさの原点。

低重心でコンパクトな水平対向4気筒エンジンを縦置きに搭載するボクサー4WDは、他の4WDシステムとは根本的に異なり、トランスミッション等の重量メカニズムがホイールベースの内側に搭載されています。加えてシンプルなメカニズムは左右対称。この結果、ハンドリングが良く、極めて優れた運動バランスを生みだしています。4WDそのものの走行安定性に加えて、この天性の運動バランスが、レガシィの走りの愉しさの原点。後から付け足したものではない、すべてのレガシィが生まれもった走りの資質です。